

防災担当より

4 / 15 (金) 朝のHRで

- ・ 昨日の夜、九州の熊本県で震度7の大きな地震が起きました。
- ・ 地震で家が倒れたり、火災が起きたりしました。
- ・ 9人が死亡、けが人は280人以上、避難所に2万人。
- ・ 今、たくさんの救援隊が駆けつけて救助作業をしています。

<解説のポイント> この中から一つか二つ、取り上げてみてください。

クラスの生徒の、地震についての受け止め方に気をつけてください。

- (1) もし自分のところに地震が来たらどうすればいいか？
 - すぐに安全なところを見つけて移動し、身を守ります。
 - 落ちてこない、倒れてこない、移動してこない
 - 火を消すのは揺れが収まってから。
- (2) もし登下校中に大きな地震が起こったらどうする？
 - すぐに安全なところを見つけて移動し、身を守ります。
 - 落ちてこない、倒れてこない、移動してこない
 - ビルの窓ガラスや看板の落下、ブロック塀や門柱の倒壊に注意
- (3) 地震が起こった後に気をつけなければいけないことは？
 - 余震（大きな地震の後は何度か少し小さな地震が起こります）
 - 火災の発生（→火を止める、ガスの元栓、ブレーカーを落とす）…地震で停電しますが、それが復旧した後に、倒れた電気ストーブや痛んだ電気配線から出火することがあります。それを「通電火災」と言います。通電火災を防ぐためには、停電していても家のブレーカーを落とすことが必要です。
 - 津波（→海の近くや、川の近くにいたらすぐに避難する）
 - 崖崩れや土石流（特に雨が降っている、降ってきた場合、危険性が増します）
- (4) 大きな地震だったのにどうして仙台は揺れなかったのか？
 - 大きな音も遠くで聞くと小さく聞こえるように、大きな地震も遠い場所ではほとんど揺れません。今回は九州という遠い場所で起こったので、仙台は揺れませんでした。逆に、東日本大震災の時は仙台はすごく揺れましたが、九州では揺れませんでした。
 - その場所がどれくらい揺れたかを震度で表します。昨日一番揺れた場所は、熊本県の益城町（ましきまち）で、震度7でした。震度7は、「立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。」「固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。」という揺れです。
- (5) 防災避難訓練をするのはどうしてか？
 - 光明支援学校では、毎月1回の防災訓練があります（ショート訓練と防災避難訓練）。
 - 日本では、いつどこで地震が起こるか分かりません。なので、いつ地震が来ても落ち着いて身を守ることができるように、普段から何回も練習しておきましょう！